株式会社 オガワエコノス

本　　社　広島県府中市高木町502-10
TEL.0570-002-998　FAX.0847-45-5872

本山工場　広島県府中市本山町530-85
TEL.0847-41-5804　FAX.0847-41-5809

鵜飼工場　広島県府中市鵜飼町800-113
TEL.0847-47-6110　FAX.0847-47-6112

福山工場　広島県福山市箕沖町106-3
TEL.084-999-0530　FAX.084-999-0531

サーキュラーエコノミー福山　広島県福山市箕沖町106-2
TEL.084-959-5380　FAX.084-959-5383

岡山工場　岡山県勝田郡勝央町太平台89-8
TEL.0868-38-0530　FAX.0868-38-0531

仙台工場　宮城県黒川郡大和町松坂平8-3-13
TEL.022-796-5380　FAX.022-796-5381

東京営業所　東京都中央区京橋2-11-3服部ビル301号
TEL.03-3563-0530　FAX.03-3563-0533

グループ会社
有限会社ダイイチ企業

広島県広島市安佐北区白木町三田字小椿1521-3
TEL.082-829-1270　FAX.082-829-1283

ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C176635

この紙は、国際的なNGOであるFSC®の責任ある森林管理や加工・流通の規格に則り認証された紙で、適切に管理されたFSC®認証林、再生資源およびその他の管理された供給源からの原材料から作られています。

〈FSC®の森林認証制度について〉
環境、社会、経済分野の利害関係者の合意によって支持された、責任ある森林管理の原則と基準に基づく国際森林認証制度です。適切に管理された認証林やその他のリスクの低い由来からの原材料でつくられた製品をラベルで識別し、消費者はその製品を購入することで責任ある森林管理を支援することができます。

VEGETABLE OIL INK

再生油を使用したインクで、大気環境への負荷を軽減。また生分解性が高いため、再生紙へのリサイクルがしやすく、土中でも分解しやすいことから、世界レベルで注目されている環境対応型インキです。

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



ECONOS CSR, SDGs REPORT 2024

ECONOS 株式会社 オガワエコノス

進化するサステナビリティ
2030SDGsへの挑戦



代表取締役　小川　勲

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、この度、弊社は2023年4月から2024年8月までのCSR・SDGs活動をまとめた報告書を発行する運びとなりました。
弊社は、「三方よし」の精神を基盤に、地域社会への貢献を通して持続可能な社会の実現を目指し、様々な取組みを行う中で、中長期的な企業価値向上につながる土台づくりに注力して参りました。
具体的には人的資本経営の基本方針のテーマとして① Well-Being ② DE & I ③ Integrity を掲げ、社員一人ひとりの価値を最大限に引き出すことで、社員がいきいきと生きがいを持って働ける環境づくりを進めております。
今後も、社員が成長と貢献を実現できる機会と場を提供し続けるよう、人材育成に力を入れてまいります。
読者の皆様におかれましては、本報告書が、当社のCSR・SDGs活動へのご理解を深めていただく一助となれば幸いです。
今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

目　次

会長ご挨拶…… 2
〈特集1〉株式会社アールプラスジャパンへ資本参加 … 4
〈特集2〉福山市公衆トイレのネーミングライツ …… 5
企業理念・経営方針・行動基準・会社方針…… 6
エコノス SDGs行動宣言・SDGs重点取組項目 …… 7
Engagement …… 8
人的資本経営…… 9
ECONOS SDGs 2030 VISION…… 14
1.コア・コンピタンスとしての環境保全事業の強化
AQUA …… 16
LOHAS …… 18
RPF…… 20
2.地域と連携した環境教育活動の展開
環境教育活動…… 22
3.働き方改革の促進
エンゲージメント向上に向けた取り組み…… 24
ECONOS CSR REPORT …… 28
環境データ集…… 30
ダイイチ企業…… 34
オガワエコノスの沿革と概要…… 36



特集 01

2024年3月

持続可能な社会の実現に向けてプラスチック資源循環を加速

「株式会社アールプラスジャパン」へ資本参加しました

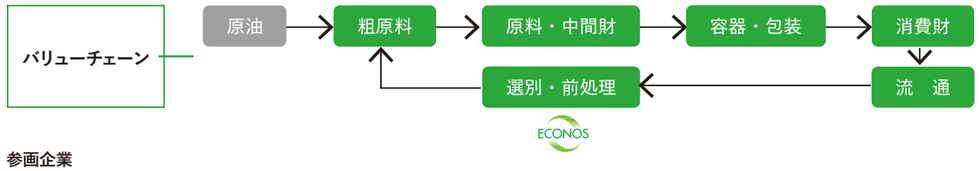
オガワエコノスは持続可能な社会の実現に向けてプラスチック資源循環を推進するため、共同出資会社「株式会社アールプラスジャパン」に資本参加しました。

本共同出資事業への参画により、使用済みプラスチックの資源循環を推進し、バリューチェーンの一員として持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。



使用済みプラスチックの再資源化技術について

ペットボトル以外のプラスチックは、現在国内では多くが燃焼されていると言われています。今回の技術は、ペットボトルを含むその他一般のプラスチックを、**直接原料（ベンゼン・トルエン・キシレン・エチレン・プロピレンなど）に戻すケミカルリサイクルの技術**です。従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO2排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用することができると考えています。



参画企業

商　社	Iwatani	粗原料	三菱ガス化学	三井化学			
原料・中間財	TOYOBO	SAKATA INX	artience	Dexerials	TOKYOink 東京インキ株式会社		
容器・包装	レンゴー	東洋製罐グループ	DNP 大日本印刷	TOPPAN	Fuji Seal	北海製罐株式会社	YOSHINO 株式会社吉野工業所
	APLIS	シーピー化成株式会社	リンテック株式会社	コバテック	日本山村硝子株式会社	リスパック株式会社	株式会社高速
	RP東プラ株式会社	生駒化学工業	HiroKawa	四国化工機株式会社	TOMOWEL 共同印刷株式会社		
消費財	SUNTORY	Asahi	NISSHIN oillio	Calbee	森永乳業	DUSKIN	Yakult
	SARAYA	SHISEIDO	mizkan	muRata	House		
金　融	DBJ	三井住友信託銀行	MIZUHO みずほ銀行				
流　通	セブン-イレブン	選別・前処理	J&T 環境 株式会社	三友プラントサービス	株式会社オガワエコノス		

特集 02

2024年6月

Everyone smile toilet（エブリワン スマイル トイレット）

福山市公衆トイレのネーミングライツで地域貢献します

福山駅前広場にある福山市公衆トイレの地域密着型ネーミングライツ（命名権）を取得しました。

地域貢献の意味合いが強い取り組みで、多くの人が利用する駅前トイレを清潔な状態で気持ちよく使ってもらいたいと思って応募しました。

「利用される方が気持ちよく笑顔で使用できるトイレ」にしていきたいとの思いで、『Everyone smile toilet（エブリワン スマイル トイレット）』にしました。

弊社アクア事業部の業務の一つであるトイレ清掃・メンテナンス業務を命名権料として、2024年5月から3年間の契約で提供しています。ぜひご利用ください。











命名看板

命名権料 ＝ トイレ清掃・メンテナンス業務3年間の契約

オガワエコノス アメニティ事業［トイレのメンテナンス・清掃・洗剤等販売業務］

自治体から一般のご家庭にいたるまで水環境の維持管理業務を幅広く行っています。

●トイレ診断／ご提案
トイレ診断士がトイレルームを診断し、適切な管理方法をご提案します。

●定期サービス
◎小便器リピートメンテナンス
◎大便器リピートメンテナンス
◎消臭リピートメンテナンス
◎サニタリーBOXレンタル＆メンテナンス

●リフレッシュサービス
◎小便器メンテナンス
◎大便器メンテナンス
◎便座除菌クリーナー本体レンタル

●トイレの快適用品
◎災害用緊急トイレセット
◎消臭剤
◎洗浄剤
◎トイレブラシ
◎浄化槽/害虫駆除剤取付け
◎業務用尿石除去剤
◎浄化槽/浄化促進剤
◎浄化槽/固形消泡剤
◎小便器/業務用尿石除去剤
ほか



ECONOS Philosophy

企業理念

地球環境を考えながら、足元の小さなことから始める
それが、Think Globally, Act Locally

株式会社オガワエコノスは、『Think Globally, Act Locally』を行動指針として、
企業理念である『エコロジーをテーマに地域社会と地球の未来に貢献する
「自然にやさしい」「人にやさしい」会社』を実現するべく積極的な活動を行います。

経営方針

1 「買い手よし」「売り手よし」「世間によし」の三方よしを基本原則として
企業の社会的責任を果たして、お客様に満足から感動してもらえる会社・社員に成長しよう

2 “良い社員”“良い仕事”“良い会社”にするために“品質”“品格”を高めて
世のため　人のため　社会のために役立とう

3 お客様目線で物事に対応・解決するためには、
謙虚と感謝と学ぶ心をもって“社員力”を向上させよう

行動基準

いい社員├会社と仕事に誇りを持ち、仕事に喜びや楽しみを見出そう。

いい仕事├お客様に喜んでいただく為にはどうしたらいいか、考え行動しよう。

いい会社├地域や社会から、任せて安心オガワエコノス、と言って頂ける会社になろう。

会社方針

2030 SDGsで変える

SDGsに取り組み　世のため　人のため　社会のために
エコノスグループのプライドを持って考動しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



エコノス SDGs 行動宣言

オガワエコノスは“Think Globally, Act Locally”を掲げ、
『自然と人にやさしい会社を実現する』という理念のもと、
適正処理、高品質の事業活動と社会貢献活動を通じて、
SDGsの達成に貢献し、地域社会とともに持続的に成長していくことを目指します。
2020年1月1日　代表取締役　小川　勲

SDGs 重点取組項目

1	**コア・コンピタンスとしての環境保全事業の強化**	①RPF（石炭代替燃料）製造による環境配慮型非化石エネルギー利用の促進、②適正処理によるリサイクル率の向上、③水環境を維持し、河川海洋の汚染防止を事業として、地域の環境保全活動を積極的に行います。
2	**地域と連携した環境教育活動の展開**	地域・行政・学校等との連携により、『見る、する、考える』環境教育活動（エコノス　SEED プロジェクト）を展開し、『地域や地球の環境保全を推進する人財』の育成を通して、継続的に社会貢献活動に取り組みます。
3	**働き方改革の促進**	働き方改革を進め、①コンプライアンス整備によるガバナンスの構築、②アライアンス強化による働きやすい職場環境づくり、③社員がリライアンスを背景に自己実現や社会貢献を通して『いきがい』を持ち、社会から信頼される『いい会社』へ成長していくことを目指します。

Engagement

従業員のエンゲージメント向上



《コミットメント》

エコノスグループは、『自然にやさしい、人にやさしい』会社の実現を企業理念として掲げる中、 ①いのち（生命） ②人権　③環境　をサステナビリティの重要項目として位置付けており、個人の尊厳を守り、人権を尊重した安全で働きやすい職場環境を実現するため、このたび『エコノスグループ人権方針』を制定いたしました。
企業の人権尊重責任を果たし、事業継続性や持続的な企業価値向上の観点からも、常に高い倫理観と良識をもって行動し、社会から信頼される企業グループとして評価されるよう取り組んで参ります。

主な取り組み









リフレッシュ休暇	Well-being…チーム STEP
早帰り日（3 日 / 月）	福利厚生…保障保険
ノー残業早帰りウィーク設定	両立支援
アニバーサリー休暇	育児休暇
健康休暇	障害者雇用…結婚・出産　アイサポート
ミニ連休の推奨	外国人雇用
スマホ支給（業務用）拡大	働き方改革（副業、兼業解禁…規定化）時間外労働
know me 会補助金支給（年 2 回）	賃金…ベースアップ+定期昇給
育まご休暇	アイサポート　B 型継続支援施設賃上げ、高齢化の課題
1/f 休暇	企業間交流（職場見学）
育児時短	学び…研修、自己開発（啓発）、人財開発、マトリックス
時差出勤	プロジェクト　SEED
インターバル勤務（11 時間インターバル…以内は業務制限）	採用活動（リクルート）
男性育休（5 日有給）	DX
特別休暇（災害、犯罪被害者）	管理会計（人時生産性）

エコノスグループ人権方針



1．**差別等不当な取扱い**
国籍、市民権、出生地、人種、皮膚の色、信条、宗教、家系、婚姻の有無、性別、性的指向、性自認、障がい、年齢、社会的地位、その他各地域の法令で定めるもの等いかなる事由であっても、差別や個人の尊厳を傷つける行為、無視、嫌がらせ、その他の不当な取扱い行うことを許容しません。

2．**ハラスメント**
ハラスメントといった身体的、精神的苦痛を与える行為を禁止し、そのような言動を一切許容しません。

3．**プライバシーと個人情報**
常に一人ひとりのプライバシーを尊重し、個人情報は細心の注意をもって取扱います。個人情報保護に関係する法令を遵守し、漏洩や不必要に知ろうとする行為を許容しません。

4．**強制労働、児童労働、賃金水準**
法令及びその他の労働基準を遵守し、事業活動を行ういかなる場所でも、強制労働、児童労働を許容しません。
また、労働法令等を遵守し、すべての労働者へ最低賃金以上の賃金を支払うとともに不払いを許容しません。

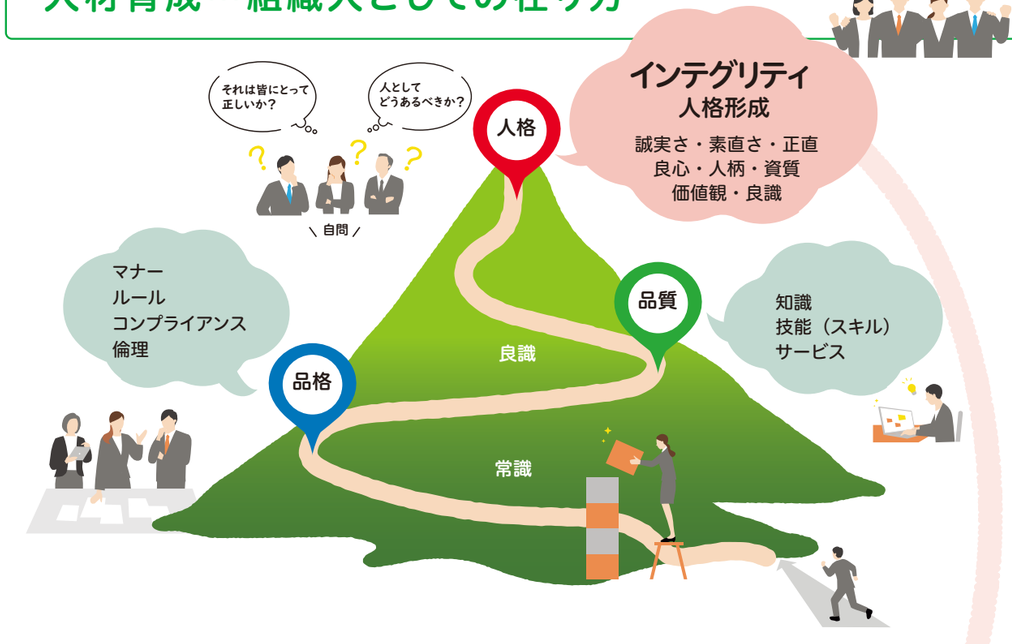
5．**労働安全と健康**
各労働者がその能力を最大限発揮でき、働きがいが持てるような心理的安全性の高い労働環境や働き方の形成に努めます。

6．**労働者の権利**
労働者の団結権、団体交渉権、団体行動権等、労働者の権利を尊重します。

人的資本経営

人材育成…組織人としての在り方

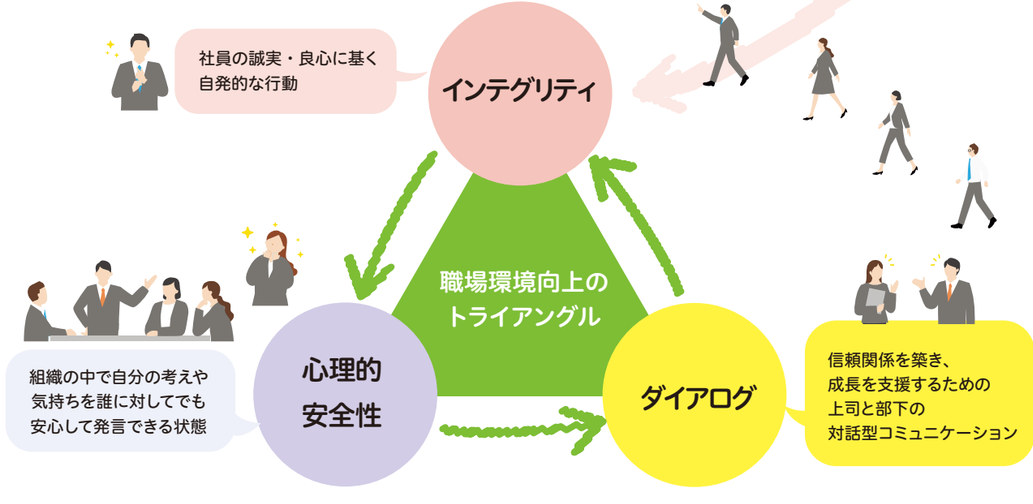




目指すべき職場環境



『心理的安全性』『ダイアログの実践』を確保する中、
各人が『インテグリティ』を実践していくことにより職場環境は良好となります。
また社員全体の WELL-BEING（身体的、精神的、社会的に良好な状態）の進展により、
結果、生産性向上やコンプライアンス遵守にも繋がります。



人的資本経営

ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン

経営理念の達成には、多様な視点を持つ社員が、自らの意志や気付きをもとに能力を発揮できる組織の構築が不可欠

（Diversity：多様な人財の採用・登用／ Equity：公平な機会提供・支援／ Inclusion：組織への包摂・交流促進）

性別に偏りのない活躍の実現

男女ともに活躍できる環境づくりに向けて

女性管理職割合が **30**% になるまでは、
格差是正にむけた取組みが求められている
（男女雇用機会均等法8条）

主な取り組み

- 両立支援
- 育児休暇
- 育まご休暇
- 1/f 休暇
- 育児時短
- 時差出勤
- インターバル勤務
- 男性育休（5 日有給）





目標・施策

	何を	どのくらい	いつまでに
1	女性マネジメント職	30% 以上	2030.4
2	職務・役割の性別偏り是正	女性現場職 5% 以上	2030.4
3	男性育休・短時間勤務取得促進	各 2 週間以上	2028.3

障がい者の積極雇用

障がい者が働きがいを感じられる組織づくりに向けて

障がい者雇用率（2024年3月） **2.33**%達成

法定雇用率

2023 年 **2.3%** → 2024 年 **2.5%** → 2026 年 **2.7%**

精神障がい者の就労促進を目的に、引上げが実施された

主な取り組み

- 障害者雇用　結婚・出産
- アイサポート
- 外国人雇用
- B 型継続支援施設賃上げ
- 高齢化の課題





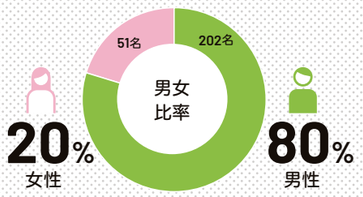
目標・施策

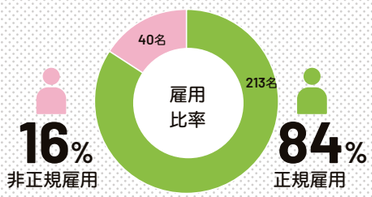
	何を	どのくらい	いつまでに
1	新卒採用強化	1名程度	毎年
2	職務環境改善	本山施設の更新	2031.4
3	雇用者、職場フォロー	ジョブチーフ育成 1名以上	2026年度中

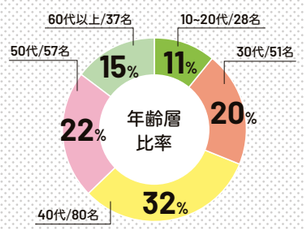
人材データ 2023 年

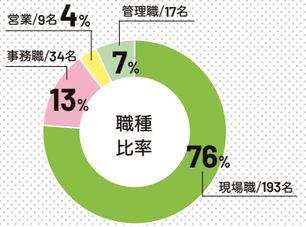
総従業員数 **253**名

エンゲージメント総合スコア **53.0**
（特定部署の33名実施）
（全体平均/55.6）







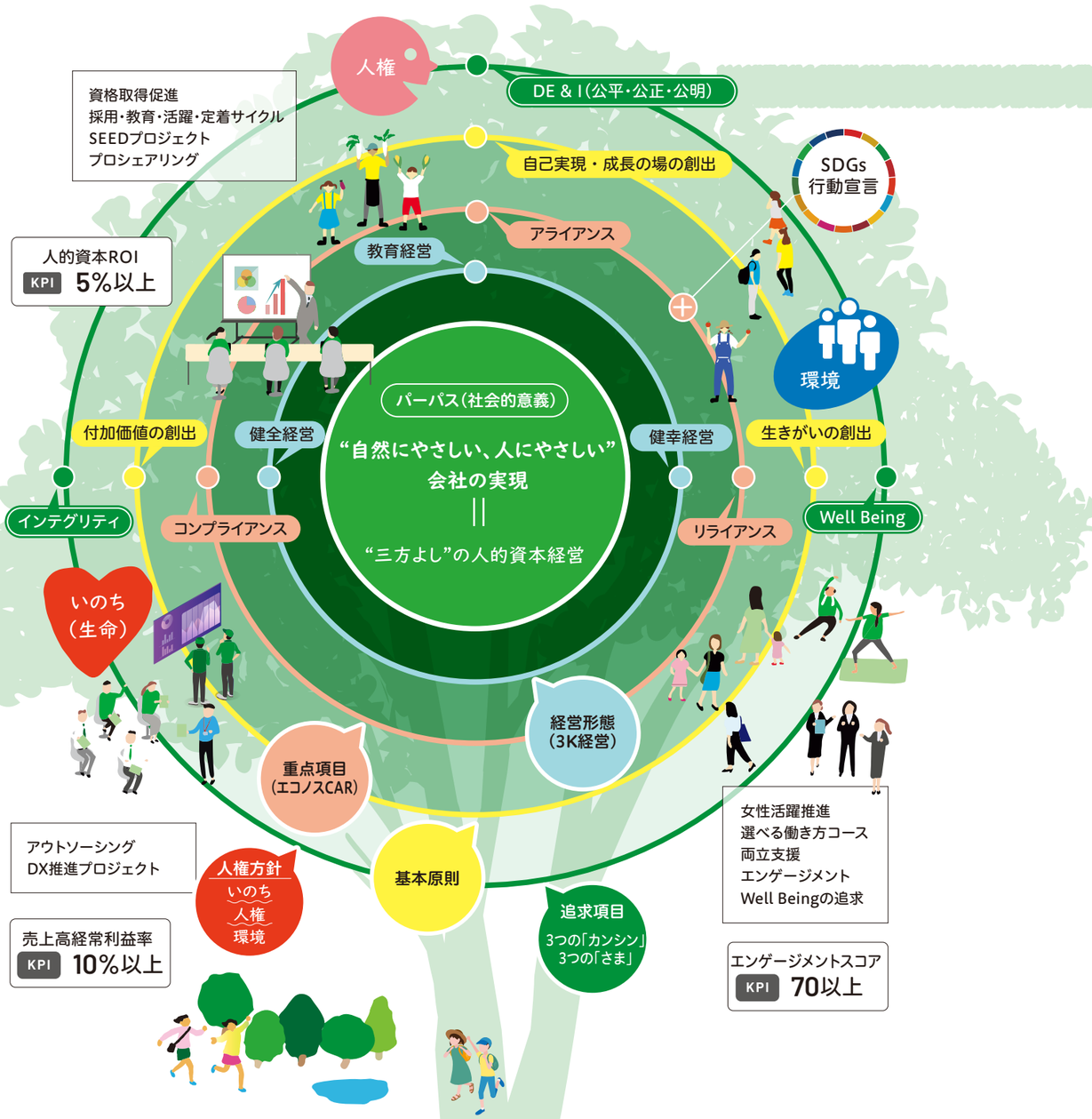




平均残業時間 **5.89h** （パート含 253 名）	有給休暇 平均取得日数 **14.8日/年**	平均勤続年数 **12.88年** （パート含）	総人件費 **14億8,500万円** （パート含） （役員報酬＋研修費含）	平均年間給与 **500 万円** （正社員・時間外手当含まず）
人材開発 / 研修費総費用 **1,429万円**	従業員一人当たりの 研修受講時間 **13.3h** （正社員）	一人当たり 教育投資総額 **56,482円/年**	労働生産性 **703万円/人**	従業員売上 （一人当たり） **2,022 万円**
離職率 **1.88%** （正社員 /213 名）	労災認定件数 **8 件**	懲戒処分件数 **3 件**	定年（65歳） 再雇用者数 **5 名** **（100%）**	従業員（一人当たり） EBIT **308 万円 / 人**

人的資本経営

人的資本経営サマリー［基本方針 /Well-Being, DE & I, Integrity］



※人的資本経営とは、人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方です。
※DE & I「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン」とは、多様な人が働く組織の中で、それぞれの人に合った対応をすることで、それぞれがいきいきと働き、成果を出し続けるための考え方とされています。
※エンゲージメントとは、「職場（企業・団体）と従業員の関係性」や「自社と顧客との関係性」を表す際に用いられます。

人的資本投資の高度化への取り組み

定着

◎成長と貢献
◎心理的安全性の確保
（ブレイクアウトラボの活用）
◎持続性とチャレンジ性の確保
（プロジェクト・兼務・未来へのエントリーシート）
◎経営会議報告会の開催
◎人事フィードバック面談
◎コース転換制度

胆識　定着率（平均勤続年数） KPI 15年以上

採用

◎若手による採用プロジェクトの展開
◎パーパスの共有
◎キャリア形成研修
◎プロシェアリング：人財発掘スキル向上



知識　毎期応募数 KPI 5名以上

DE & I
公平・公正・公明

活躍

◎改革と変革（会社の価値創造）
◎チームパフォーマンス
（チーム目標による評価項目）
◎ビジョンの実現と自己実現
目標管理（OODA）継続と評価
◎フィードバック面接

胆識　エンゲージメントスコア KPI 70以上

育成

◎自律的成長を促す
◎プロ育成の視点（プロに仕上げる）
◎キャリア面談実施
◎実践目標の設定と実行
（受講報告書様式）
◎スキルアップ　OJT,OFFJT,育成計画策定
◎各種資格取得促進

見識　研修受講率 KPI 100%

＼エコノスに必要な3つの「カンシン」／

- 関心：気にかける 興味をもつ
- 感心：認める 憧れる
- 歓心：共感する 喜びとする

＼エコノスの心を育てる3つの「さま」／

- お互いさま：気にかける 思いやり
- お疲れさま：気配り 尊敬
- おかげさま：謙虚 感謝

『自然にやさしい、人にやさしい』

エコノスグループ人権方針



ECONOS SDGs VISION

1 コア・コンピタンスとしての環境保全事業の強化

AQUA

浄化槽排水・下水処理場放水基準値を守り、
水環境をかえる
芦田川上戸手のBODを1.0mg/Lにする

LOHAS

適正処理によるリサイクル率を100%にする
埋立処分量を300t以下にする
（ディズニーランド600個分の森林を守る）

RPF

RPF（石炭代替燃料）等製造による、
環境配慮型非化石エネルギー利用を促進する
リサイクルエネルギー生産量250,000t/年にする
（広島県全124万世帯の約半年分の電力170万MWhにする）

2 地域と連携した環境教育活動の展開

環境教育

地域・行政・学校等との連携により、『見る、する、考える』
環境教育活動（エコノスSEEDプロジェクト）を展開し、
『地域や地球の環境保全を推進する人財』の育成に取り組む。
海外で出前授業をしたい

3 働き方改革の促進

働き方改革

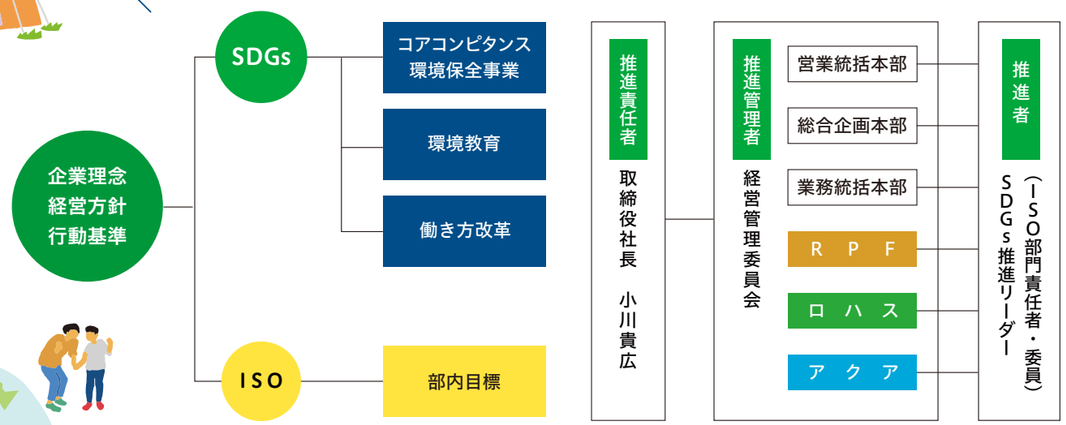
コンプライアンス整備によるガバナンスの構築をする。
アライアンス強化による働きやすい職場環境づくりをする。
社員がリライアンスを背景に自己実現や社会貢献をする。
社員が成長と貢献を通して『いきがい』を持てる
『いい会社』への成長を目指そう

2023（年度）実績

		2022	2023	2030 目標値	単位
AQUA	BOD（芦田川水系）	0.7	1.1	1.0	mg/L
LOHAS	埋め立て処分量	1,480	1,116	300	t
	リサイクル率（本山工場）粗大・資源・家電	93.4	93.6	100	%
RPF	フラフ（ダイイチ企業）	11,269	16,355	19,000	t
	木質チップ（エコノス岡山）	2,570	2,025	3,000	t
	木質チップ（ダイイチ企業）	8,000	6,257	12,000	t
	RPF生産取扱量	58,311	63,315 ※	216,000	t

※サーキュラーエコノミー福山を含む（2023.4～）

SDGs 推進体制



2030 までの目標

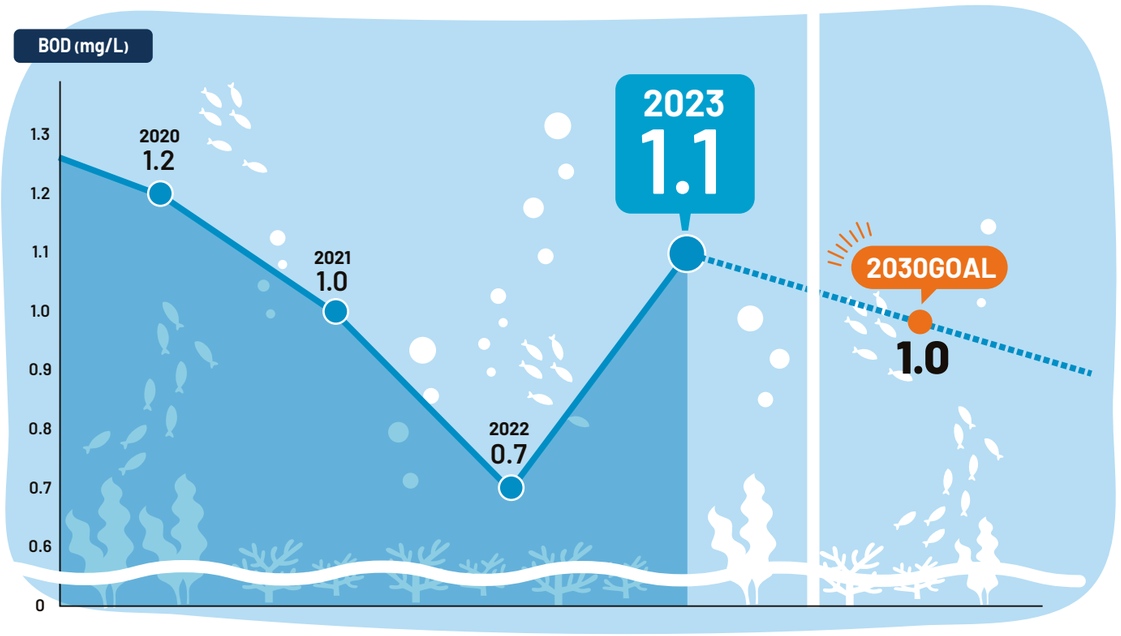
AQUA

自治体や一般家庭などの水環境の維持管理業務を幅広く行っています。

●浄化槽管理●下水道施設管理●くみとり●アメニティ事業

一級河川芦田川の水質を改善する

浄化槽排水・下水処理場放水基準値を守り、水環境をかえることで、
芦田川上戸手のBODを1.0mg/Lにします。



“尾道の海のゆりかご 75ha 再生プロジェクト” ブルーカーボン・オフセット

バキューム車の排気ガスの一部

2023 年度 実績

14.3t

carbon offset



このプロジェクトは、尾道市沿岸域で再生された人工干潟（高尾、海老、灘、百島）を浦島漁業協同組合が適切な維持管理を行うことで、藻場の再生や生態系の回復を目指しています。

再生された人工干潟は約 75ha と面積が大きく、瀬戸内海における貴重な生物生息場として重要なだけでなく、水質の浄化や水産生物の保全・育成による食料供給、環境学習の場の提供など多様です。



システム化によるデータ管理･省力化で顧客対応に注力

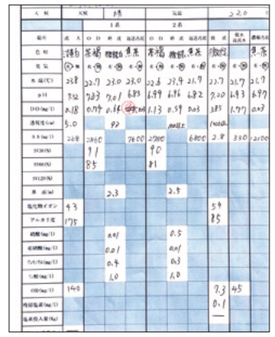
ノーコードシステム開発ツール「CELF」を活用したアプリが完成し実装しました。

アプリを導入することで「点検簿を事前に用意する」、「紙をめくって過去のデータを探す」、「会社に帰ってデータを探す」、「帳票作成のために複数のエクセルファイルを操作する」など時間のかかる作業がすべてなくなり、月間で約4時間もの削減になりました。

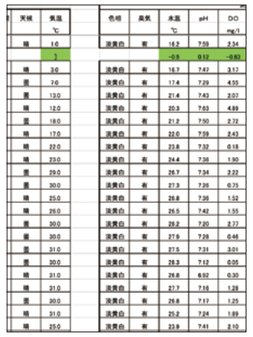
時間に余裕ができたことで、手厚い点検や顧客対応ができるようになりました。また、入力する項目に制限を設けることで結果の記録ミスも減少し、データ集計などの属人化していた業務も解消されました。

今後も DX 化を推進し、これまで以上に高品質なサービスを、どこよりも早く提供できるように活動を継続し、事業部のブランド力向上に努めていきたいと思います。

▼導入前



▼導入後



下水道３種技術認定試験合格



合格：元石　良美さん

〈資格取得の動機〉
下水道処理施設の維持管理業務の水質管理や書類作成等で現場をサポートする業務を行っています。自分達の業務がどのような法規制の中で行われているか、また処理施設の運転管理のために用いる指標の算出方法や算出に必要な項目などの知識を養うために受験しました。
〈学習方法〉
事前に対策講習を受講して、傾向と対策を学び、主にテキストの読み込みと過去問を解き合格しました。

○グループ内資格取得者数／ 10名（元石さん分含む）

環境にやさしいEV車（電気自動車）導入

アクア事業部の管理車両に EV 車を導入しました。

EV 車はガソリン車と比べ走行時に二酸化炭素を排出しないため、環境にやさしい車として SDGs の目標達成や脱炭素社会の実現に繋がります。



バイオマストイレ設置へ向けて研究会

土砂災害防止などを目的に江戸時代に築かれた福山市芦田町の別所砂留に、排泄物を微生物によって分解処理するバイオマストイレを設置するための研究会が発足しました。

弊社と地元住民や企業、行政などで構成された研究会は利便性向上、地域活性化の観点からバイオマストイレ設置に向けた調査研究を行います。副産物として発生する堆肥はバラ花壇などで肥料として活用する方針です。



アクアデザインカー走る

アクア事業部アメニティ作業車にデザインカーを導入しました。お客様からは「清潔感があり、走っていたら目に留まります」との感想をいただきました

また後方一面ラッピングした路線バスも、福山市内の11路線を順番で走行してます。



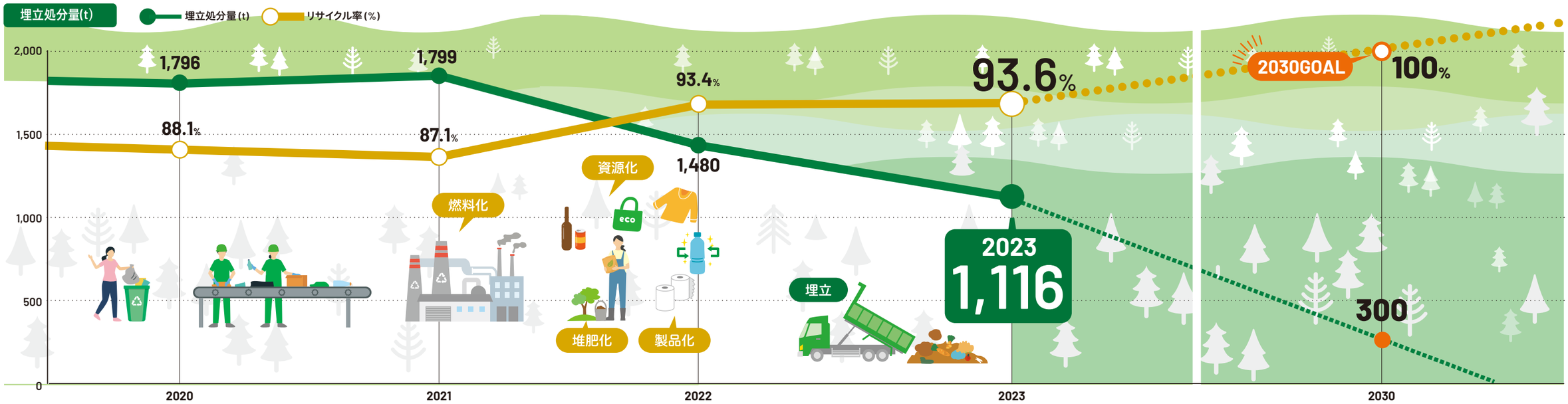
2030 までの目標

LOHAS

●中間処理・リサイクル事業

東京ディズニーランド 600個分の森林を守ることにつながります！

リサイクル率を100%に近づけ、埋立処分量を300t以下にする



“おかやまの森整備公社の森林プロジェクト”グリーンカーボン・オフセット

パッカー車の排気ガスの一部

2023 年度 実績

20.0t carbon offset



「おかやまの森整備公社」では、環境保全を重視した「針広混交林」への誘導を図る森林プロジェクトに取り組んでいます。





サーキュラーエコノミー福山の埋立量削減効果

サーキュラーエコノミー福山では、従来埋立処分や焼却処分をされていた混合廃棄物の中から、RPF固形燃料にできる原料を選別し、RPF 燃料としてリサイクルを行っています。

工場の本格稼働により、2023 年度は13,702 トンの埋立量削減に貢献しました。





府中市施設の業務委託

府中市から、施設管理と運営を委託されています。

業務内容は、府中市内全域から集められた可燃ごみを大型パッカー車に積み込み「福山ローズエネルギーセンター」に運搬する事です。









岡山工場 2023 年度クリーン作戦に参加

岡山県産廃協会津山支部主催のクリーン作戦に、同支部会員の収集運搬業者や中間処理業者、地元住民、県民局職員ら 50 人が参加しました。

沿道の 2 ヶ所に分けて斜面に捨てられたテレビや冷蔵庫などの廃家電やベッド、古タイヤなどを手作業で撤去しました。この場所は 6 年前にも行った場所でもあり、前回以上に不法投棄が増えていることにとても残念な思いでした。半日で約 4t を回収し看板を設置して終了しました。





2030 までの目標

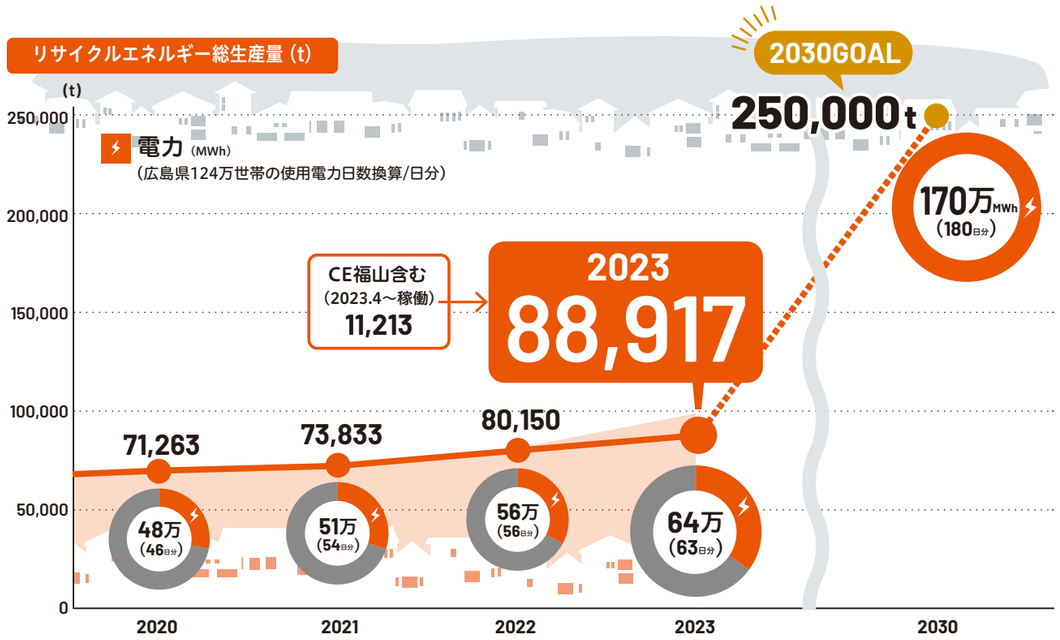
RPF

中国地方最大規模のリサイクルプラント施設
サーキュラーエコノミー福山が稼働しました。

●RPF製造●フラフ製造●木質チップ製造●バイナリー発電

RPF製造等による環境配慮型非化石エネルギー利用を促進する

リサイクルエネルギー（RPF＋フラフ＋木質チップ）生産量を250,000tにします。





ベトナムに現地法人設立

ベトナムの廃棄物の処理方法は、ベトナム全体で80%以上が埋立主流の処理となっています。

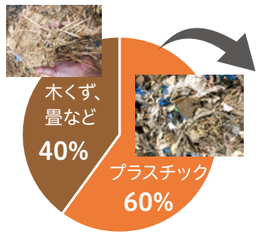
プラスチックに言及すれば、ベトナムから海洋に排出されるプラスチックごみの量は、毎年70万トンに上り、ベトナムは世界の海洋プラスチックごみの量で4位にランクされています。そうした現状を鑑みて、国としてもプラスチック対策に本格的に取り組み始めた所です。

弊社は、約7年前から、廃棄物処理の実態を調査し、燃料化などで自社のリサイクル技術を活用すべく、2025年に現地法人設立を目指します。



ECONOS SDGs 2030 VISION

サーマルリサイクル RPF 製造概略



破砕・圧縮固化



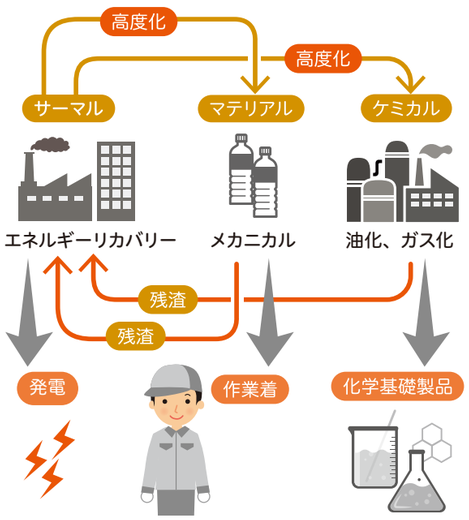
RPF 塩素含有（JIS）

A品	0.3%以下
B品	0.3%～0.6%
C品	0.6%～2.0%

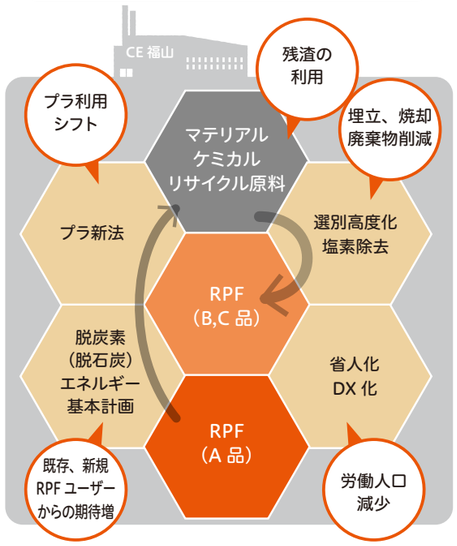


RPF 燃料
100%
発電ボイラー

プラスチックリサイクル移行への対応



サーキュラーエコノミー福山の位置付け



バーチャル工場見学を覗いてみよう!!

「福山工場」「サーキュラーエコノミー福山」の2工場において、バーチャル工場見学を導入いたしました。

バーチャル工場見学とは、事前に工場内を360度カメラで撮影した映像コンテンツ（弊社工場で行われている廃棄物処理の画像や動画）をインターネット上でいつでも視聴できる仕組みです。

まるで実際に工場見学をしているように、設備が稼働している様子や作業員の様子を見ていただくことができます。ぜひ、右記のリンク先から「バーチャル工場見学」を体験してみてください。









2030 までの目標

環境教育活動

Sustainable Environment Education for Development



地域・行政・学校等との連携により、エコノスSEEDプロジェクトを展開し、環境保全を推進する人財の育成に取り組む

SPTs → 環境保全を推進する地域人財の育成

サステナビリティ活動	出前授業数	高校生以下の工場見学件数	環境啓発イベント数	マイスター認定クラス数
2023年度実績	**34**件	**40**件	**8**件	**8**件
2023 SPTs	**18**件	**24**件	**4**件	**6**件

※SPTsとは、環境問題や社会的課題の解決に向けたサステナビリティ活動に関する目標です。(ひろぎんサステナビリティ・リンク・ローン)

SEED プロジェクトの展開

部署を飛び越えたプロジェクトメンバーが主導しました!



ものづくり実演・体験フェア

地場産業振興センターで開催された『ものづくり実演・体験フェア』に出展し、アクアリウム制作を通して33組のお客様に身近な環境について考えてもらいました。





《アクアリウム》
水草・水・土・エビをビンにいれたアクアリウムは、栄養と気体が循環することで、ビンの蓋を閉めたままでもエビが生きることができます。

南小学校稲刈り

府中市立南小学校5年生19名と、恒例の稲刈りを行いました。今回は10月から入社した新入社員も子ども達と一緒に参加しました。子どもたちに、日頃の食事とそれを支える水環境にも関心を持ってもらえる機会になりました。




海の森プロジェクトに協賛

TSSテレビ新広島主催のSDGs企画「海の森プロジェクト」に企業協賛しています。

このプロジェクトの取り組みとして、「親子で学ぶ海の環境教室」が福山大学と共同で福山大学マリンバイオセンター水族館（因島）で開催されました。弊社のSEEDメンバー5名がスタッフとして参加し、親子71名（3グループ）の案内や誘導をしました。




ものづくり講座で水質実験

『じばさんものづくり講座』で水質実験とアクアリウム制作を行いました。水質実験では川の水を入れた紙コップにジュースなどを1滴加え、水質の変化を確認しました。

参加された方からは「食器は油汚れをふき取ってから洗います」「ごはんや飲み物を残さないようにします」などの感想をいただきました。



府中学園出前授業「3Rについて」

今回の府中学園出前授業は「3Rについて」を行いました。未来の府中市を担う子どもたちの環境学習のきっかけづくりと、地元企業の活動の場の創出を推進するため、府中市環境整備課と共に活動しています。

3クラス84名と大人数で生徒達が積極的に参加してくれたこともあり、非常に活気のある授業を行うことができました。この授業で、子ども達のゴミを捨てることに対する意識が少しでも変わってくれると嬉しいです。




「海ごみ」テーマに「ミニ地球づくり」

竹原市立大乗小学校で「海ごみ」をテーマに出前授業を行いました。自然の循環のミニ地球と「海ごみ」を模した人工物を添加したミニ地球を作ります。

ガラスボウルを2つ用意し、それぞれに小石、土、枯れ葉、小枝、コケ、シダ植物、ダンゴムシを入れて、コップ1杯の水を入れたミニ地球を2つ作ります。一方に海ごみを模したプラスチックや紙、めんつゆを添加し環境負荷の高いミニ地球にします。

最後にそれぞれにガラスボウルをかぶせて密閉しミニ地球の完成です。違いのある2つのミニ地球を何ヶ月かかけて観察します。自然の営みや循環の違いに気づくことで「海ごみ」に関心を持ってもらえればと思います。





［ひろぎんサステナビリティ・リンク・ローン］弊社は、SDGsを推進していく中で、『環境保全を推進する地域人財の育成』を目的に『エコノスSEEDプロジェクト』を展開しています。この活動において「出前授業実績数」「高校生以下を対象とした工場見学受入件数」「環境啓発イベント実施数」「マイスター認定クラス数」を指標（SPTs）として目標値を設定しています。

2030 までの目標

働き方改革



社員が『いきがい』を持ち、社会から信頼される『いい会社』へ成長していく

社員が成長と貢献を通して『いきがい』を持てる『いい会社』への成長を目指そう

❶ Well-Being ❷ DE & I ❸ Integrity

エンゲージメント向上に向けた取り組み

両立支援

ふくやまワークライフバランス認定

『ふくやまワーク・ライフ・バランス認定制度』は、男女が働きながら「仕事と家庭の両立」を実現するための支援に積極的に取り組んでいる企業を福山市が認定するものです。 オガワエコノスでは、『男性育児休業等促進宣言文』を公表し、特に男性の育児休業取得促進に 取り組んでいます。



三大疾病保障制度に加入！

もしものときも、従業員の治療と仕事の両立をサポートする保障がスタートしました。三大疾病（がん・急性心筋梗塞・脳卒中）で所定の条件に該当した場合、本人に一時金100万円が支払われます。付帯サービスとして「人間ドック紹介予約サービス」と「がんセカンドオピニオンサポートサービス」を無料で利用することができます。この制度は従業員の全員が加入しており、保険料は会社が負担しています。（住友生命さん、ありがとうございます）

「兼業・副業規程」制定

当社では、厚労省『副業・兼業の促進に関するガイドライン』に基づき、本規定を制定しました。

【目的】

①優秀な人財の出入りを促進
②許可基準を明記
③労働時間管理を適性に実施
④健康保持を確保

育児休暇“男性取得率”3年連続100%

育児・介護休業法に定められた両立支援制度を利用し、2021年5名、2022年2名、2023年3名と男性対象者全員が育児休暇を取得しました。

洗濯・買い物などの家事をしながら、子どもの保育園の準備・送迎、予防接種の付き添い、初節句の準備などとパートナーを労うことができました。





「育まご休暇」制定

孫の育児を手伝う社員を応援するため、年間3日間を上限に特別休暇を付与する規程を制定しました。
（休暇利用者は、育まご休暇と同日数以上の年次有給取得が必須）



ECONOS SDGs 2030 VISION

5 ジェンダー平等を実現しよう　6 安全な水とトイレを世界中に　10 人や国の不平等をなくそう　16 平和と公正をすべての人に　17 パートナーシップで目標を達成しよう

社員と家族の健幸

健康経営優良法人認定2024

この度、弊社は従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組みが優良であると認められ、『健康経営優良法人認定2024（中小規模法人部門）』に認定されました。

これは、両立支援をはじめマインドフルネスセンターなど、弊社の従業員とその家族や、また地域の皆さんの健康維持増進への取り組みが、医療関係者、パートナー、サポーター様や地域の皆さんのご理解ご協力に支えられ、発展継続させていただいている証と認識しています。



夕方「ヨガサークル」スタート

先生が始めに体の状態を聞いてくださり、身体のほぐしから始めます。

1時間程度で、きついヨガポーズもありますが血流が良くなり、頭も身体も軽くすっきりします。

「次の日もイライラしなくなった」、「よく眠れて目覚めもスッキリ！」などの感想をいただいています。





公式エコプロ LINE いつでも動画閲覧可能

マインドフルネスセンター運営のエコプロ LINE がリニューアルオープンしました。

社員の皆様やご家族の方々の心身の健康に役に立つ情報を発信しています。症状に合わせたエクササイズ1分動画がいつでも閲覧可能です。





社員の安全

「フォークリフト安全運転技能競技大会」開催

2023年度より始めた「フォークリフト安全運転技能競技大会」を今年度も開催しました。採点項目には安全操作の「基本」が盛り込まれています。「基本」を少しでも思い出しながら安全な職場を作っていきましょう。上位入賞者は4月に行われたエコノスアワードで表彰されました。





AI 機能付きパッカー車導入

RPF 事業部仙台工場に最新の機能が付いたパッカー車を導入しました。

回収時に人体の巻き込まれを感知して自動で停止してくれる AI 機能が付いた車両です。作業の安全性がさらに向上して事故防止につながります。





働き方改革

エンゲージメント向上に向けた取り組み







職場環境向上 = Well-Being

府中市「多様な人材活躍実践」企業認定

弊社では、働く社員と家族が「Well-Being（身体的、精神的、社会的に満たされ安定した状態）」を目指し、若手社員研修、女性キャリア面談の実施、新たな役割付与による働きがい創出、休憩室・トイレの環境改善等を行ってきました。

そういった取り組みを評価していただき、府中市から「多様な人材活躍実践」企業として認定いただきました。



チーム STEP の今後の活動

チーム STEP 始動から１年経過しました。活動やイベントについてアンケートを行い、その結果を踏まえて今後の活動に役立てていきます。

1、ウォーキングをしたいという意見も多かったことを受けて、（遠隔地の工場の社員にも参加してもらいやすいように）スマホにアプリを導入したウォーキングイベントを開催予定。

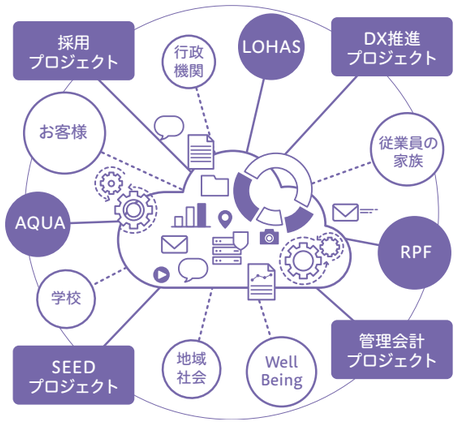
2、毎月発行の社内報に「チームステップ」のコーナーを設置し、身体の痛みの改善や睡眠に関する情報提供を実施予定。




各種プロジェクト進行中

部署を横断して、会社全体の課題解決のため、各種プロジェクトを進行しています。

業務システムのスマート化を目指した『DX 推進プロジェクト』、若手人財の獲得と育成を目的とした『採用プロジェクト』、地域や学校と連携して環境教育活動を展開する『SEED プロジェクト』、健全経営を推進する『管理会計プロジェクト』など、各部署の社員が役割をもってプロジェクトに参加しています。



事例紹介

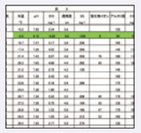
アクア事業部は、DX で働き方改革を実現

遠隔監視システムと CELF 導入により、作業時間を大幅に削減しながらも、正確で品質の高いサービスを実現することが可能になりました。

汚水処理施設 - 維持管理業務で作業時間削減		
第１弾	遠隔監視システム導入による緊急出動の回数減少	▲10 時間 / 月
第２弾	時間、場所を問わず正確で適切な判断が可能	▲5 時間 / 月
第３弾	CELF 導入により報告書の自動化による作業時間削減	▲4 時間 / 月


点検の様子


CELF 導入前


CELF 導入後

ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン

就活生対象合同説明会に参加 採用プロジェクト

リクルーター６名で広島産業会館とコンベックス岡山での合同説明会に参加しました。説明会に向けて業務の合間に集まりプレゼン資料を作成し、練習と改善の繰り返しです。当日は学生の人数より企業の出展数が多く、どの企業も厳しい戦いになりましたが、現場見学会の参加予約をいただくことができました。




障がい者新卒雇用強化



弊社は障がい者が生きがいを感じられる組織づくりに向けて、職場環境改善やフォローアップに取り組んでいます。

障がい者新卒雇用を強化し、採用した障がいのある社員が３年目を迎えました。他の社員の協力を得ながら選別作業から分析へとスキルアップしています。

また結婚して家族が増えたことでさらに責任感を持って研修や業務に頑張っています。

「シニア賃金制度規定」制定《60歳から70歳までの正社員・嘱託社員対象》

「シニア賃金制度規定」制定案
「嘱託社員規定」改定案



目　的
①シニア労働力の有効的活用
②労働条件の改善
③働きがい、心理的安全性確保　　※以上、人権方針に準拠

特　長
①労働条件緩和： 部署間人事異動、転居を伴う異動はしない
恒常的な深夜勤務を採用しない
65歳まで等級引継ぎを変更しない
嘱託社員の年棒制導入可
現行基本給の80%以上を確保する
②役割成果給の導入（評価制度を一部適用）
③選択型働き方コース

第６条　役割成果給は次のとおりとする

職群	名称	対象職種	評価別定額（千円）
一般	シニア	現場職、事務職、営業職	25・35・45
専門	スーパー EX	管理職、国家資格等を要する業務従事者	35・50・65
マネジメント	グランド	経営管理者等	60・80・100

第 14 条　シニア賃金制度が適用される従業員の働き方については本人の選択により次の中から選ぶことができるものとする

コース名		労働条件	賃金水準
A	フルコース	8H/ 日、40H/ 週→ 170H/ 月程度	100%
B	ECO7 コース	7H/ 日、35H/ 週→ 148H/ 月程度	A × 85% 以上
C	E- バランスコース	週休 3 日、32H/ 週→ 130H/ 月程度	A × 75% 以上

ECONOS CSR REPORT 2024

ECONOS SDGs 2030 VISION









地域の健康応援企画「健幸ストレッチ教室」

2024年1月から地域の方を対象にした健康教室「健幸ストレッチ＆脳トレ」を開催しています。インストラクターから家でもできる簡単なエクササイズや、笑いもある脳トレを指導いただき、地域の方々に大変喜ばれています。

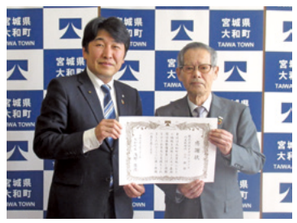




宮城県大和町に「企業版ふるさと納税」

宮城県黒川郡大和町では2006年仙台工場建設以来、事業系廃棄物を中心に収集運搬や処理などを行ってきました。その大和町へ、これまでの感謝の気持ちを込めて「企業版ふるさと納税」として1,000万円を寄付し、同町より感謝状をいただきました。

この寄附金は「七ツ森湖周辺再整備事業」として活用されます。これからも地域に喜んでいただける取り組みを継続していきます。



地域の道路清掃

毎月1回～3回、本社、各工場で清掃活動を行っています。

- 本社・本山工場 /23年継続
- 鵜飼工場 /21年継続
- 福山工場・CE 福山 /6年継続
- 岡山工場 /19年継続
- 仙台工場 /18年継続







経団連自然保護基金に法人寄付実施

アジア太平洋地域の途上国や国内において、NGOが実施する生物多様性保全・自然保護プロジェクトの支援を目的に、経団連を通じて寄付を行いました。

経団連自然保護協議会への寄付を通じて自然と共生する社会づくりに貢献しています

経団連自然保護協議会
Keidanren Nature Conservation Council
公益信託
経団連自然保護基金
Keidanren Nature Conservation Fund

厚労省が弊社の特別休暇制度を事例紹介

弊社の『両立支援規程』に基づく休暇制度が、厚生労働省の事例集に紹介されました。

【一部紹介】

①「女性専用の f/1休暇」を新たに制定

女性特有の病気等（生理痛や妊娠期の悪阻、不妊治療、更年期症状等）に月2回、年間最大10日まで利用できる制度。

②「災害・犯罪被害支援制度休暇」（特長的な制度（1））

従業員やその家族が災害や犯罪被害に遭った際に、必要日数の休暇を取得できる制度

③「ファミリーサポート休暇」（特長的な制度（2））

家族の看護・看病や骨髄等の提供のために利用できる制度



インターンシップ受け入れ

年間を通して、大学生を中心としたインターンシップの受入れを行っています。

「キャリアイメージ体験」「深堀り体験」の2コースがあり、キャリアイメージ体験では、主に先輩社員との交流を行い、大学生からの質問に悩みながらも熱意をもって対応しました。深堀り体験では、アクア事業、リサイクル事業、RPF事業からの選択制で、40分の座学を行った後は先輩社員と一緒に現場作業を体験していただきました。







中学生職場体験

府中市内の中学生の職場体験の受け入れを行っています。

研修内容はノートパソコン解体、容器包装プラスチック選別、浄化槽管理見学、事務作業などです。研修後は研修内容と目標達成度の発表を行います。









イラク研修団の視察

1月にJICA（国際協力機構）の依頼で、「廃棄物管理研修（全25日間）」として、イラクの行政官6名の視察研修がありました。

この研修の目的は、日本のごみ処理状況を視察し自国のごみ処理問題の解決に活かすことです。

当社の鵜飼工場と本山工場を見学し、地域のごみ分別・収集・中間処理（行政の民間委託）について勉強されました。

イラクはごみ分別が確立しておらず、オープンダンピング（埋立地にそのままごみをダンプする）を行っており、周辺地域の公害問題にもなっているとのことです。

今後も、海外の方の視察を積極的に受入れて、国を超えた環境保全に協力していきたいと思います。



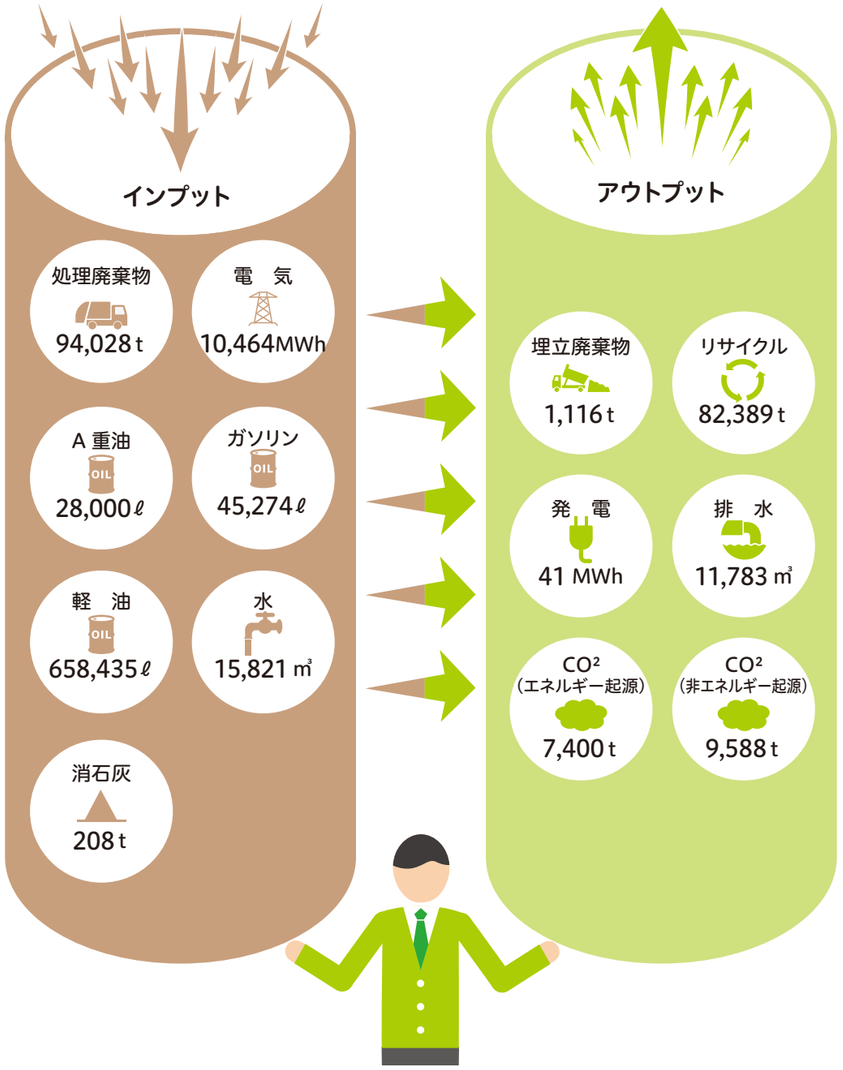






マテリアルバランス（エネルギー使用含む）

2023 年度（2023 年 4 月～ 2024 年 3 月）



環境データ

2023 年度（2023 年 4 月～ 2024 年 3 月）

産業廃棄物のリサイクル率

品　目	リサイクル率
汚泥	37.3%
廃油	100.0%
廃酸	100.0%
廃アルカリ	100.0%
廃プラスチック類・ゴムくず	95.2%
紙くず	99.9%
木くず	99.7%

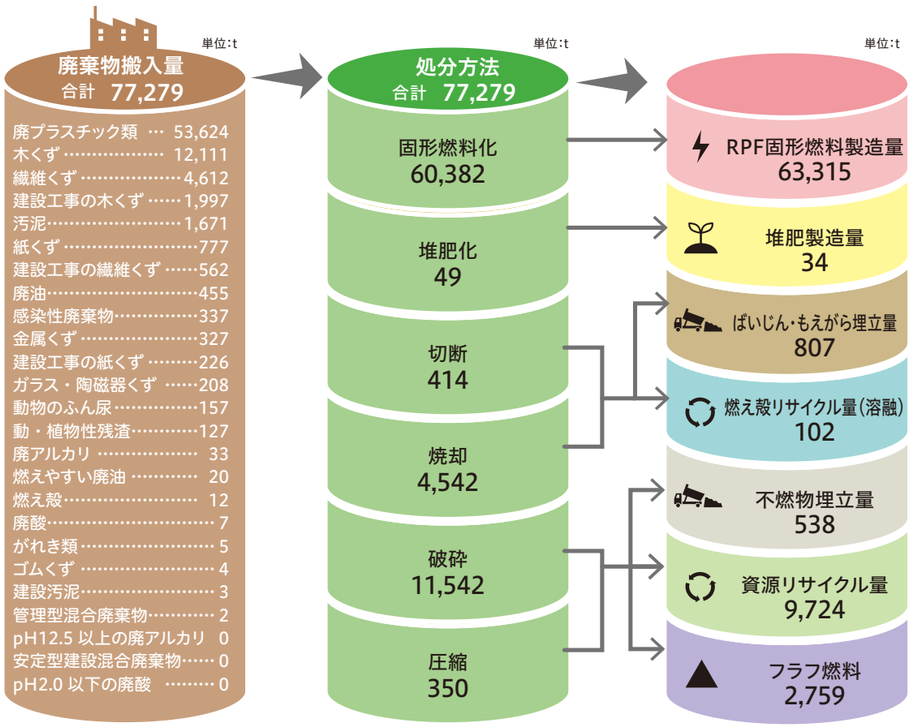
品　目	リサイクル率
繊維くず	98.9%
動植物性残渣	17.2%
金属くず	98.0%
ガラス・陶磁器くず・がれき類	0.0%
感染性廃棄物	0.0%
燃え殻	0.0%
混合廃棄物	0.0%

環境測定結果

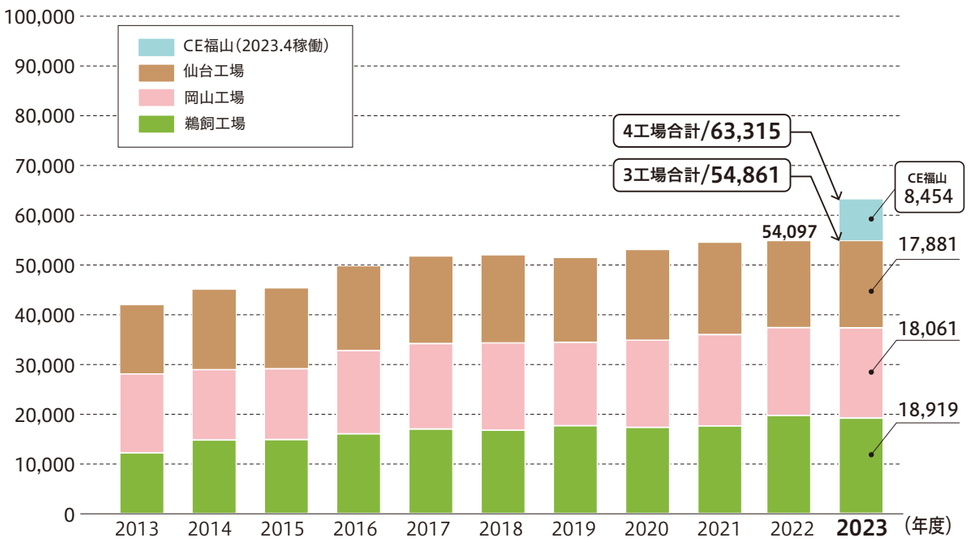
場所	項目	結果	単位	規制値	測定日	分析機関
焼却炉	ばいじん	不検出	g/m3N	0.15	2023年6月7日	JFE西日本ジーエス㈱
焼却炉	塩化水素	33	mg/m3N	700	2023年6月7日	JFE西日本ジーエス㈱
焼却炉	硫黄酸化物	不検出	m3N/h	17.5（K値）	2023年6月7日	JFE西日本ジーエス㈱
焼却炉	窒素酸化物	62	ppm	250	2023年6月7日	JFE西日本ジーエス㈱
焼却炉	水銀	3.5	μg/m3N	50	2023年6月7日	JFE西日本ジーエス㈱
焼却炉	ダイオキシン	0.29	ng-TEQ/m3N	5	2023年6月12日	JFE西日本ジーエス㈱
本山工場	騒音	66	dB	70	2023年6月16日	JFE西日本ジーエス㈱
本山工場	振動	44	dB	70	2023年6月16日	JFE西日本ジーエス㈱
本山工場	臭気	10未満	臭気指数	10～21	2023年6月16日	JFE西日本ジーエス㈱
福山工場	騒音	67	dB	70	2024年2月9日	JFE西日本ジーエス㈱
福山工場	振動	37	dB	70	2024年2月9日	JFE西日本ジーエス㈱
鵜飼工場	騒音	59	dB	65	2023年6月26日	JFE西日本ジーエス㈱
鵜飼工場	振動	43	dB	70	2023年6月16日	JFE西日本ジーエス㈱
鵜飼工場	臭気	18	臭気指数	10～21	2023年6月28日	JFE西日本ジーエス㈱
岡山工場	騒音	58	dB	70	2023年4月21日	西日本環境測定㈱
岡山工場	振動	50	dB	65	2023年4月21日	西日本環境測定㈱
仙台工場	騒音	58	dB	64	2023年7月13日	エヌエス環境㈱
仙台工場	振動	32	dB	60	2023年7月13日	エヌエス環境㈱
本社ピット	BOD	22	mg/L	160	2024年1月24日	㈱日本総合科学
本社ピット	COD	11	mg/L	160	2024年1月24日	㈱日本総合科学
本社ピット	SS	11	mg/L	200	2024年1月24日	㈱日本総合科学
本社ピット	T-N	5	mg/L	120	2024年1月24日	㈱日本総合科学
本社ピット	ｐH	7.7	-	5.0～9.0	2024年1月24日	㈱日本総合科学
本社浄化槽	BOD	7.1	mg/L	20	2024年3月15日	（公社）広島県環境保全センター

産業廃棄物の処分量

2023 年度（2023 年 4 月～ 2024 年 3 月）

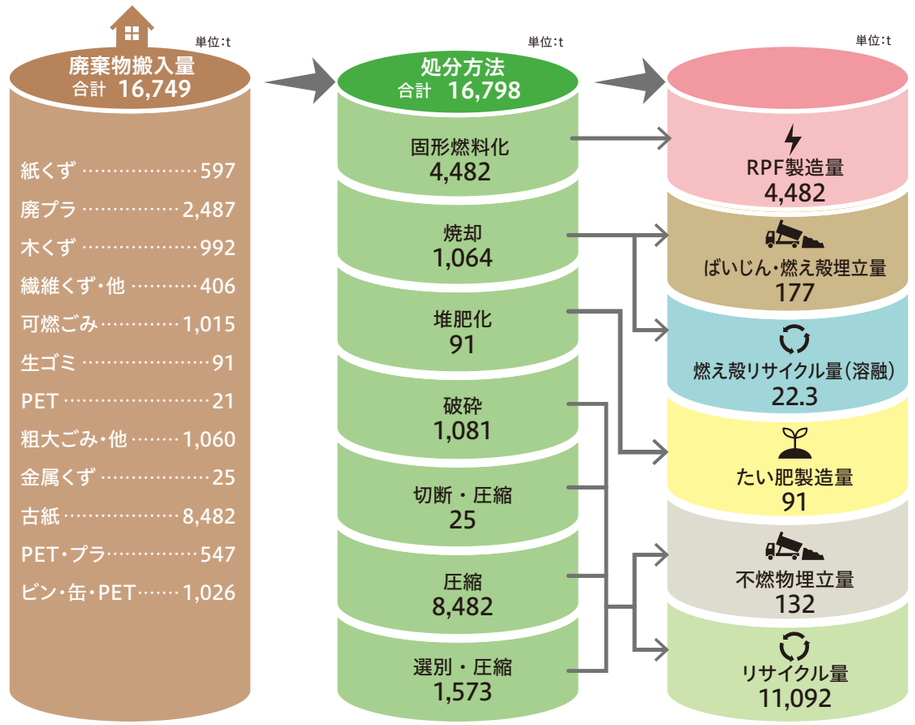


RPF原料 搬入量推移（t）



一般廃棄物の処分量

2023 年度（2023 年 4 月～ 2024 年 3 月）



液状

汲み取り （単位㎥）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
芦田川水系	4,879	4,694	4,406	**4,254**
江の川水系	713	689	650	**649**
合　計	5,592	5,383	5,056	**4,903**

浄化槽清掃 （単位㎥）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
芦田川水系	19,172	19,417	19,546	**19,642**
江の川水系	2,869	2,831	2,775	**2,809**
高梁川水系	2,856	2,863	2,881	**2,962**
合　計	24,897	25,111	25,202	**25,413**

維持管理の委託を受けた浄化槽　下水道施設の基数 （単位㎥）

	設備の能力	維持管理件数
みなし浄化槽	5~10人槽	**3,761**
	11~50人槽	**543**
	51~500人槽	**44**
	501人槽以上	**0**
合併浄化槽	5~10人槽	**5,841**
	11~50人槽	**232**
	51~500人槽	**95**
	501人槽以上	**7**
下　水　道		**4**
合　計		**10,527**

グループ企業

有限会社ダイイチ企業

住　　所／広島県広島市安佐北区白木町三田字小椿1521-3
設立年月日／1987年7月8日
従 業 員 数／55名（2024年4月）
売　上　高／1,297百万円（2024年3月期）

産業廃棄物の一連の処理工程（2023 年度）

単位：t

産業廃棄物受入	木くず	6,177		破砕	発電燃料用チップ 6,257
					製品原料チップ 0
	紙くず 繊維くず 廃プラスチック類 金属くずの混合廃棄物	19,254	選別プラント	破砕	製紙原料 38
					セメント原燃料化 16,355
					RPF 原料 975
					溶融（路盤材） 901
					製鋼原料 789
	がれき類、ガラス陶磁器くず	6,598		破砕	再生砕石・路盤材 1,519
					安定型埋立処分場 5,129
	石膏ボード	3,475		破砕	再生原料 759
					セメント原料化 2,716
					管理型埋立処分場 0

総受入量	35,504

総処理量	35,438

〈種類別リサイクル率〉

単位：%

木くず	100	金属くず	100
紙くず	100	がれき類、ガラス陶磁器くず	23
廃プラスチック類	100	廃石膏ボード	100
繊維くず	100		

リサイクル処理	28,499
埋立処理	5,129
総リサイクル率	80%

中学生の職場体験学習

2024年5月15日・16日の2日間、広島市立高陽中学校3年生の生徒さん5名が職場体験学習に来られました。

1日目：産廃について学習し、作業着に着替えて工場内の見学です。順番に重機を試乗し、選別プラントでの体験がスタートしました。

2日目：新築現場から出た廃棄物の分別作業、段ボールの積込、廃棄物の計量、最後は掃除をして体験終了です。

みなさんに充実した2日間を楽しんで体験していただくことができました。

職場体験の受入れは、私たちも新しい発見をすることができて楽しみにしています。ぜひお越しください。






白木町よさこいチーム「桜風舞（おうふうのまい）」さんへ旗を贈呈

弊社がある白木町に「桜風舞」（おうふうのまい）というよさこいチームがあり、小・中・高校生から大人の方までが協力して楽しく活動されています。今回、その「桜風舞」さんにこの写真の旗を贈呈いたしました。

この旗を掲げてゴールデンウイークに行われたフラワーフェスティバルのステージで立派な舞を披露された「桜風舞」さん。圧巻のステージでした。旗もステージを盛り上げていたようです。

また、パレードで着用されたTシャツも200枚寄付させていただきました。

ダイイチ企業の理念の中の1つ「地域社会と共存共栄してゆく企業をめざします」の思いからの協賛です。これからも地域の方々と共に発展していくよう努めていきたいです。







収集運搬チーム清掃隊参上！

収集運搬チームのメンバーが隔週の月曜日、始業前の30分間にトラック駐車場周辺の清掃活動を行っています。主に歩道のゴミ拾いや草が生えるのを防ぐために砂を取る作業などを行っています。

大変ですが続けていくことに意味がある、続けた先にあるきれいな道路を目指して収集運搬チームみんなで頑張っています。




草刈り清掃活動＆消火訓練

6月2日の日曜日、三篠川河川敷で地域の方が行っている草刈り清掃活動に、28名の社員で参加しました。弊社は地域の方が利用される道路を上がった先にあり、搬入路の利用などで大変お世話になっています。その感謝の気持ちをこめてこれからも活動を続けていきます。

清掃活動後は消火訓練を行いました。ハイプレッシャーポンプの水の出し方の説明や体験をしました。火災が起こらないよう気を付けていきます。




ダイイチ企業施設見学

弊社では施設見学の受け付けを随時行っています。選別プラントや木くずヤード等、全ての場所を見学できます。

見学を通して弊社の業務について、皆様に知っていただきたいと思っています。

弊社のマスコットキャラクター「イッチー」もお出迎えしご案内します。




「県立広島特別支援学校」の皆様

オガワエコノスの沿革・概要

トイレ・ゴミの歴史



オガワエコノスの沿革

- 1952 小尿収集・ごみ処理業務開始
- 1965 小川興業株式会社として法人登記
- 1965 浄化槽維持管理業務開始
- 1981 廃棄物資源化工場の完成、業務開始
- 1983 産業廃棄物中間処理業の許可取得
- 1992 上下公共下水道水質管理センターの諸業務を受託
- 1993 特別管理産業廃棄物処理業の許可取得
- 1994 御調町中央浄化センターの諸業務を受託
- 1995 資本金1，000万円に増資
- 1997 株式会社オガワエコノスに社名変更
- 1999 大気汚染防止法適合焼却炉設置
- 2000 本山工場において ISO14001 認証取得
- 2003 鵜飼工場新設
- 2004 食品残渣堆肥化施設の稼働開始
- 2004 東京事務所開設
- 2005 RPF 固形化燃料製造設備の稼働開始
- 2005 岡山工場新設
- 2006 RPF 固形化燃料製造設備の稼働開始
- 2006 仙台工場新設
- 2007 日本ウエスト株式会社と業務提携
- 2007 S&P 格付け「aaa」取得
- 2008 一般貨物自動車運送事業許可取得
- 2009 カーボンオフセット事業開始
- 2011 優良産廃処理業者認定取得
- 2012 Pマーク取得
- 2014 OHSAS18001 認証取得
- 2015 RPF の JIS 認証取得
- 2016 焼却施設「バイナリースカイ」稼働開始
- 2017 有限会社ダイイチ企業とグループ会社
- 2018 福山工場新設
- 2018 岡山工場　一般廃棄物収集運搬（積保）・廃プラ・古紙圧縮業務開始
- 2019 ISO45001 認証取得
- 2019 岡山工場　一般廃棄物収集開始
- 2020 エコノスマインドフルネスセンター設立
- 2020 SDGs 行動宣言
- 2021 アクアブルーの完成
- 2022 紺綬褒章拝受
- 2022 創業70周年
- 2023 サーキュラーエコノミー福山稼働開始

オガワエコノスの概要

社　　名／株式会社オガワエコノス
代表取締役／小川　勲
設　　立／1952 年 3 月 15 日
（法人登記）　1965 年 4 月 1 日
資　本　金／1,000 万円
従　業　員／253 名（2024 年 4 月 1 日）

営業種目

1. 家庭系、事業系廃棄物の収集運搬及び処理・再生に関する事業
2. 汚水処理施設及びごみ処理施設等の維持管理業務
3. 浄化槽の維持管理及び清掃に関する事業
4. 管洗浄及び下水、排水等各種ピットの清掃に関する事業
5. ビル等建築物の清掃及び管理業務
6. 汚水及びごみ処理設備機器のレンタル、販売及び施工業務
7. 固形燃料製造及び販売
8. 肥料・飼料の研究開発、製造及び販売
9. 一般貨物自動車運送事業
10. 労働者派遣事業
11. 農作業の代行、請負及び受託
12. 農産物、農畜産加工品の生産、貯蔵、運搬及び販売
13. 前各号の仲介及びコンサルタント業務
14. 前各号に附帯関連する一切の業務

〈売上高推移〉

2019 年度／ 3,704 百万円
2020 年度／ 3,775 百万円
2021 年度／ 4,064 百万円
2022 年度／ 4,437 百万円
2023 年度／ 5,116 百万円

〈S&P 格付け〉

2019 年度／ aa
2020 年度／ a
2021 年度／ aa
2022 年度／ aa
2023 年度／ aa

〈取引銀行〉

みずほ銀行、三井住友銀行、三菱 UFJ 銀行、商工中金、広島銀行
もみじ銀行、中国銀行、両備信用組合、ゆうちょ銀行

〈主要取引先〉

福山市、府中市、尾道市、三次市、庄原市、神石高原町、広島県立高校
公共機関、リョービ（株）、王子製紙（株）、日本製紙（株）
クリナップ（株）　他多数

〈加盟団体〉

府中商工会議所、日本 RPF 工業会、広島県環境整備事業協同組合
広島県清掃事業連合会、広島県資源循環協会、岡山県産業資源循環協会
宮城県産業資源循環協会、東京都産業資源循環協会、日本経済団体連合会